

ご と き た
神戸北遺跡 (No. 2)

位置情報URL：[三重県地図情報サービス 神戸北遺跡](#)
(クリックすると地図を表示します)

発掘調査が終了しました。

平成26年10月24日(金)に、神戸北遺跡発掘調査の現地での作業を終了しました。

10月4日(土)に開催した現地説明会には、62名の方に参加していただきました(詳細：[「神戸北遺跡の現地説明会を開催しました」](#))。



調査区北側
(南より)



調査区南側
(北より)

ほったてぼしら
室町時代の掘立柱建物が見つかりました。

調査区の北西隅から、2間×3間の掘立柱建物の柱穴が見つかりました。大台町での室町時代の建物は2例目です。

この建物の内側には、3m×3mの土坑がありました。室町時代の掘立柱建物で土坑を伴うのは珍しい例です。



弥生時代の土坑が見つかりました。

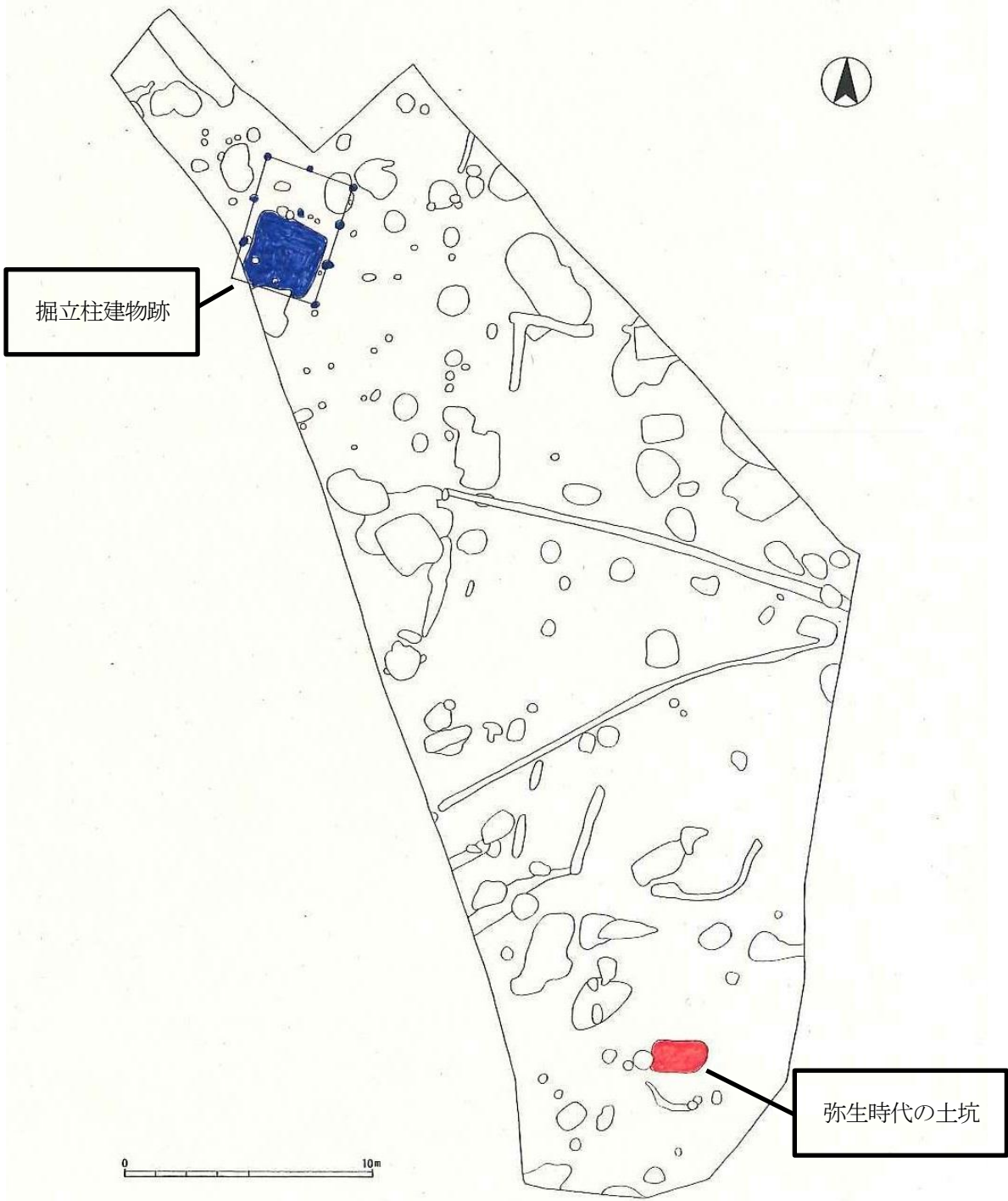
調査区の南にある2.2m×1.2mの長円形の土坑から、弥生後期のかめ甕の破片が出土しました。大台町での弥生時代の遺構は初めての例になります。

弥生時代の土坑（東から）



土坑から出土した弥生後期の土器（甕）かめ

神戸北遺跡 平面図



出土した遺物

遺物の数は多くありませんが、縄文土器、弥生土器、鎌倉時代の山茶椀、室町時代の土師器や陶器など、様々な時代のものが出土しています。

この遺跡の南には、熊野古道が宮川本流を渡河する三瀬の渡しがあります。この地が陸上、水上両交通の結節点として、この地域に暮らす人々にとって重要な場所であったことを示唆しています。

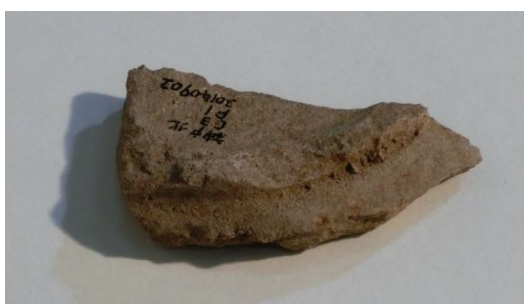
縄文土器・深鉢（縄文中期末）



弥生土器・壺（弥生後期）^{つぼ}



鎌倉時代・陶器（山茶椀）



室町時代・陶器（甕）^{かめ}



発掘調査を終えて

今回の調査で、室町時代の熊野古道沿いの村落の様子が少し明らかになりました。また、大台町域で初めて弥生時代の遺構を確認できたことは、大きな成果でした。

今後は、発掘された遺物などの分析、研究を通じて、この地域の過去の姿に迫っていきたいと思います。

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課

担当者：泉・小倉

電話番号：0596-52-1732

FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp